Part 2 | 振興事業

「振興事業」は、環境NGO･NPO活動の持続的な発展に向けて、
調査研究、研修、情報提供を行い、活動の一助となることを目指します。

1. 若手プロジェクトリーダー育成支援プログラム

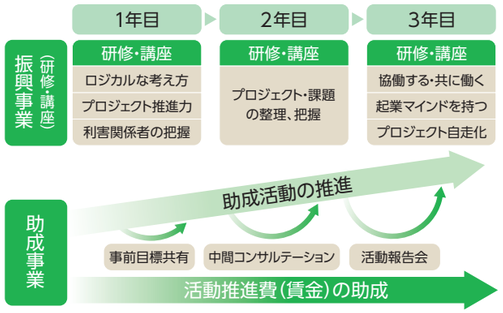
地球環境基金助成対象団体の若手職員育成を支援するため、3年間にわたり活動推進費（賃金）を助成するとともに、年間3回（3年間で全9回）の研修機会を提供しています。

●若手プロジェクトリーダー育成支援プログラムの目標

3年間の研修やフォローアップなどを通して、助成対象プロジェクトを成功に導き、成果を創出することができる人材の育成を目指しています。

2019年度受講者数	4期生	5期生	6期生
計27名	7名	7名	13名

●支援プログラム･体制

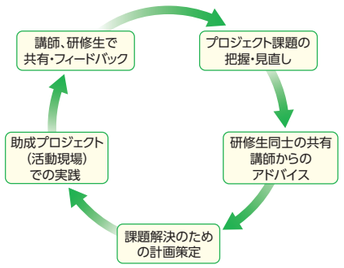


●2019年度のトピックス

5期生（2年目）

助成対象プロジェクトのより良い成果創出のためには、一般的な知識を提供するだけでなく、研修生それぞれの実情に合わせてサポートを行い、より実践的で効果的な学びを提供することが重要であると考え、2019年度から「伴走型支援」の一環として、1年間の「担任制度」を導入しました。
各団体が実施している助成対象プロジェクトに寄り添い、担任（講師）と研修生（助成先団体）、そして地球環境基金が、年間を通してプロジェクトの状況を共有しながら、その時に必要な情報やノウハウを提供することで、研修生が助成対象プロジェクトをより効果的に推進できるよう支援しています。

●1年間の「担任制度」研修のデザイン



●研修の様子

4期生（3年目）

栃木県宇都宮市でのフィールド実習

4期生（3年目）

4期生の修了式

6期生（1年目）

研修でのワークショップ

研修生の声

4期生（2019年度修了生）
（特非）隠岐しぜんむら
福田 貴之さん

普段の担当業務は現場の仕事が中心で、組織の運営の全体像が見えていませんでした。この研修を受けることで、意識をしていなかった活動も自分ごととして捉えられるようになり、組織と自分を見つめ直すとても有意義な経験となりました。また、相談できる同期との出会いは、研修中もそして今も活動の支えとなっています。

5期生（2019年度 2年目）
（認特）日本ハビタット協会
太田 祥歌さん

2年目の研修では、1人の講師に通年の伴走支援をしてもらい、NGO職員としてのスキルを向上させただけでなく、自分についてとことん見つめ直し、心構えや精神面で大きく成長した1年でした。また、研修やオンライン共有を通し、この業界ではなかなかない同期のつながりを持ち、深めることができたのが、研修の最大の成果だと感じています。

2. 環境ユース海外派遣研修

地球規模での環境保全活動に取り組み、活躍するユース世代の育成を目的として、「環境ユース海外派遣研修」を実施しています。開発途上地域におけるSDGs達成に向けた取組みや課題の解決について直接学ぶ機会を通して、現地における環境問題の現状を深く理解し、今後の地球規模での環境保全活動に役立つ知識や技術の習得を目指します。

参加者数	長期コース	短期コース
	9名	1名
協力	公益社団法人 日本環境教育フォーラム	

研修の流れ

①事前研修

日　程 ▶ 2020年1月11日（土）、12日（日）《2日間》
研修地 ▶ 東京都

研修内容　事前研修では、研修の目的やねらいを理解すると同時に、訪問先の概要や現地の様子などについて学びました。

②現地研修

日　程 ▶ 長期コース 2020年2月5日（水）～2月24日（月）《20日間》　短期コース 2020年2月14日（金）～2月24日（月）《11日間》
研修地 ▶ インドネシア

研修内容　開発途上地域における環境保全に関する知識を深めるとともに、現地の公的機関やNGO、高校生や現地住民とのディスカッション等を通して、環境保全活動に携わる際に必要な姿勢･考え方･スキルを学びました。

①グヌン･ハリムン･サラック国立公園

地域住民が行うエコツーリズムを体験し、持続可能な観光と環境保全の両立のあり方を学びました。

②バンタル･グバン廃棄物最終処分場

最終処分場に関する課題だけでなく、周辺住民への補償など多面的にごみ処理問題を捉えました。

③現地NGO アマン
（インドネシア先住民ネットワーク）

活動内容のほか、プロジェクトの実施手法や先住民とのコミュニケーション手法など、実践的な学びを得ました。

④ボゴール ネイチャースクール
（私立高校）

研修生による発表や高校生との意見交換を行い、環境保全の考え方の違いに新たな気づきと刺激を受けました。

③事後報告会

日　程 ▶ 2020年9月12日（土）《1日間》
研修地 ▶ オンライン会議システム（Zoom）

研修内容　事前研修･現地研修を踏まえて研修生が作成した報告書について、発表･共有する場を設けています。研修を振り返り、今後の地球規模での環境保全活動に活きるよう、外部有識者が適宜コメントやアドバイスを行いました。
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期し、2020年度に実施しました。

研修生の声

長期コース研修生
古閑 あすかさん

研修では、農村、行政機関、企業、NGOなど、様々な立場の方々の環境問題への取組みや考えに触れ、多様な視点から物事を捉えることの大切さを実感しました。また視野が広がったことで、自分の興味･関心のある分野や、環境問題へのアプローチの仕方が明確になり、研修での経験が現在の勉学や研究活動の励みとなっています。

短期コース研修生
串田 大亮さん

現地に行ったからこそ分かる課題や環境活動があり、多角的な視点で物事を捉えることの重要性を再認識した研修でした。また、現地住民グループとの対話では企業に求められている役割などを学べたので、今後は企業に勤める立場として本業を通じた共有価値の創造を意識し、地球環境の改善に携わっていきたいと思います。